

福島県避難地域広域公共交通計画 概要版

令和5年3月策定（令和5年5月、令和6年5月、令和7年3月、令和8年3月一部改定）

1 計画の位置付け

● 計画策定の主旨

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、避難地域の復興・創生のために必要な地域公共交通の施策や事業を定める。

● 計画期間

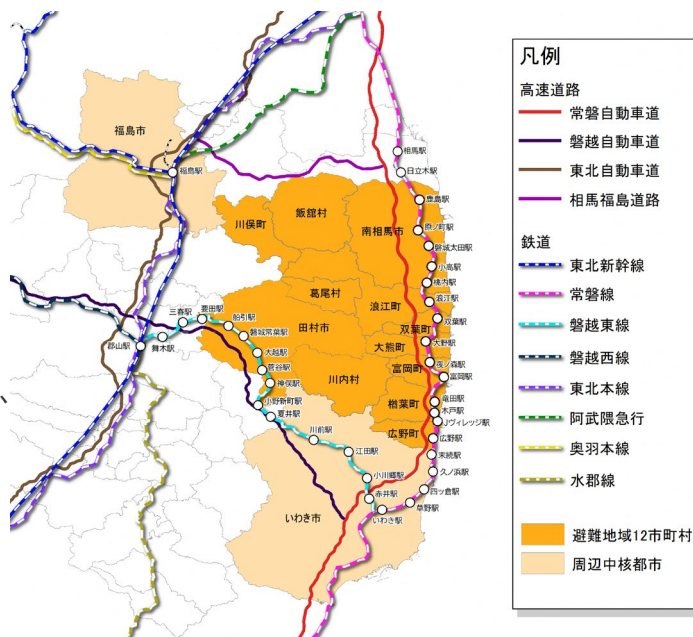
令和5年度～9年度までの5年間
第2期復興・創生期間の終了を見据え、令和6年度・令和7年度中に中間見直し

● 計画の区域

避難地域12市町村及び周辺中核都市（福島市、いわき市）

● 計画の対象

広域公共交通の維持・確保に重点を置き、主として、広域路線バス（市町村をまたぐ路線、都市間バス）を対象とする。



2 広域公共交通の目指すべき将来像

避難地域12市町村において、全ての住民が安心して暮らすとともに、交流人口等の新たな活力を呼び込むため、先進的で利便性が高く、充実した移動手段が確保されている。

生活拠点施設や福島イノベーション・コースト構想などにより構築された施設を相互につなぎ、交流の拡大やにぎわいを創出し、地域の魅力や価値を高めていく、持続可能な広域公共交通ネットワークが形成されている。

- 住民帰還を促進するための社会基盤
- 福島イノベーション・コースト構想を支える社会基盤

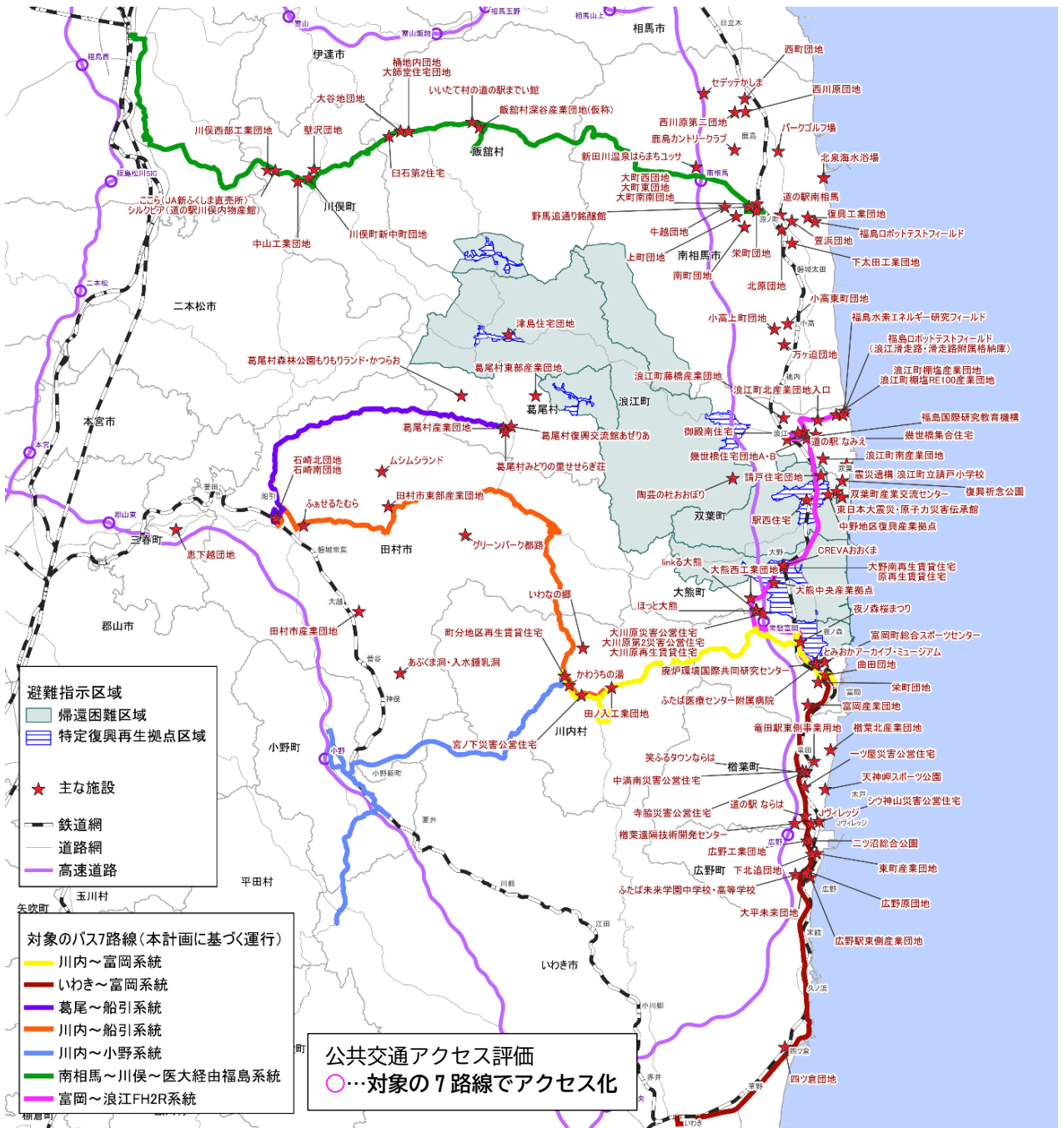


3 基本目標

- (1) 避難地域12市町村における広域路線バスの利便性向上
- (2) 避難地域12市町村における広域路線バスの利用促進
- (3) 避難地域12市町村における地域公共交通を維持・確保するための協議体制の充実・強化

4 目標達成に向けた施策

施策1 広域路線バスの運行



①川内～富岡系統

- 起点・終点等 川内車庫前～富岡駅前（運行距離33.5km、停留所数35か所）
- 主な経由点 川内村役場、複合施設ゆふね、富岡町役場、さくらモールなど
- 取組の方向性 ①利活用推進、②運行ルートの見直し、③運行ダイヤの見直し
- 目標値



| | R元 (基準) | R4 (実績値) | R5 (実績値) | R6 (実績値) | R7 (実績値) | R8～R9 |
|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 1日当たり利用者数 | 2.3人 | 1.8人 | 2.5人 | 2.3人 | 2.1人 | 10.0人以上 |
| 事業収支 | 3.9% | 5.7% | 7.4% | 5.1% | 10.7% | 上昇を目指す |

※事業収支：系統の経常費用に対する経常収益の割合（経常収益／経常費用）

②いわき～富岡系統

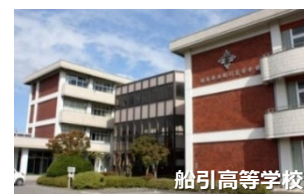
- 起点・終点等 いわき駅前～富岡駅前（運行距離41.5km、停留所数15か所）
- 主な経由点 波立薬師、広野町役場、道の駅ならば、楡葉町役場など
- 取組の方向性 ①利活用推進、②運行ルートの見直し、③運行ダイヤの見直し
- 目標値



| | R元 (基準) | R4 (実績値) | R5 (実績値) | R6 (実績値) | R7 (実績値) | R8～R9 |
|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 1日当たり利用者数 | 10.1人 | 11.9人 | 14.7人 | 34.4人 | 61.7人 | 30.0人以上 |
| 事業収支 | 3.9% | 5.7% | 7.0% | 8.1% | 18.3% | 上昇を目指す |

③葛尾～船引系統

- 起点・終点等 船引駅前～落合（運行距離27.5km、停留所数57か所）
- 主な経由点 船引高校、瀬川住民センター、緑小学校、移農協など
- 取組の方向性 ①利活用推進、②運行ルートの見直し、③運行ダイヤの見直し
- 目標値



| | R元 (基準) | R4 (実績値) | R5 (実績値) | R6 (実績値) | R7 (実績値) | R8～R9 |
|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 1日当たり利用者数 | 18.0人 | 16.9人 | 15.6人 | 13.4人 | 11.7人 | 40.0人以上 |
| 事業収支 | 10.4% | 12.2% | 10.2% | 8.5% | 5.5% | 上昇を目指す |

④川内～船引系統

- 起点・終点等 ゆふね～船引駅前（運行距離44.5km、停留所数63か所）
- 主な経由点 川内村役場、かわうちの湯、都路小学校、船引高校など
- 取組の方向性 ①利活用推進、②運行ルートの見直し、③運行ダイヤの見直し
- 目標値



| | R元 (基準) | R4 (実績値) | R5 (実績値) | R6 (実績値) | R7 (実績値) | R8～R9 |
|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 1日当たり利用者数 | 32.1人 | 28.3人 | 27.4人 | 25.8人 | 24.9人 | 60.0人以上 |
| 事業収支 | 18.3% | 17.5% | 15.7% | 13.7% | 10.4% | 上昇を目指す |

⑤川内～小野系統

- 起点・終点等 ゆふね～上三坂前（運行距離50.2km、停留所数31か所）
- 主な経由点 川内村役場、おのショッピングプラザ、小野高校など
- 取組の方向性 ①利活用推進、②運行ルートの見直し、③運行ダイヤの見直し
- 目標値



| | R元 (基準) | R4 (実績値) | R5 (実績値) | R6 (実績値) | R7 (実績値) | R8～R9 |
|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 1日当たり利用者数 | 5.3人 | 10.3人 | 7.3人 | 5.3人 | 4.0人 | 15.0人以上 |
| 事業収支 | 2.8% | 7.2% | 7.0% | 5.5% | 7.8% | 上昇を目指す |

⑥南相馬～川俣～医大経由福島系統

- 起点・終点等 原町駅前～福島駅東口前（運行行距離65.3km、停留所数51か所）
- 主な経由点 南相馬市役所、いいたて村までい館、医大、大原綜合病院など
- 取組の方向性 ①利活用推進、②運行ルートの見直し、③運行ダイヤの見直し、④長距離、長時間移動の快適性の確保
- 目標値

| | R元 (基準) | R4 (実績値) | R5 (実績値) | R6 (実績値) | R7 (実績値) | R8～R9 |
|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------|
| 1日当たり利用者数 | 64.9人 | 41.8人 | 46.3人 | 59.9人 | 62.1人 | 120.0人以上 |
| 事業収支 | 23.3% | 17.6% | 16.5% | 18.2% | 15.7% | 上昇を目指す |



⑦富岡～浪江FH2R系統

- 起点・終点等 富岡駅前～FH2R（運行距離34.5～35.4km、停留所数20か所）
- 主な経由点 富岡町役場、大熊町役場、双葉駅前、浪江町役場など
- 取組の方向性 ①JR常磐線との役割分担、②JR常磐線との接続の見直し、③ルート間の分岐、④利活用推進
- 目標値

| | R4 (実績値) | R5 (実績値) | R6 (実績値) | R7 (実績値) | R8～R9 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 1日当たり利用者数 | 2.5人 | 5.6人 | 7.7人 | 7.3人 | 10.0人以上 |
| 事業収支 | 3.7% | 5.1% | 5.1% | 7.9% | 上昇を目指す |



施策2 浜通り地方を運行する地域公共交通のDXの推進

- (1) バス路線へのキャッシュレス決済システムの導入
- (2) キャッシュレス決済システムの利用実績に基づく公共交通体系の改善
- (3) バスロケーションシステムの導入

■ 目標値

キャッシュレス決済可能な路線バス（浜通り地方）におけるキャッシュレス決済利用率

| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 |
|-----|----|---------|---------|---------|-------|
| 浸透率 | - | 70.0%以上 | 80.0%以上 | 85.0%以上 | 90%以上 |

施策3 地域公共交通の維持・確保

- (1) 域内公共交通の維持・確保
- (2) 広域公共交通と域内交通の乗り継ぎ環境の改善
- (3) 地域住民の公共交通の利用促進を働き掛けるためのイベントの企画、インセンティブの検討・充実
- (4) 避難地域12市町村を運行する公共交通ネットワークの周知
- (5) 路線バスやタクシーの人材確保